



2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月11日

上場会社名 プライム・ストラテジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 5250 URL <https://www.prime-strategy.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 渡部 直樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 城塚 紘行 TEL 03 (6551) 2995
四半期報告書提出予定日 2024年4月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	206	△7.3	44	△46.0	44	△28.6	31	△27.7
2023年11月期第1四半期	222	—	82	—	62	—	43	—

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 31百万円 (△25.8%) 2023年11月期第1四半期 42百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	9.10	8.67
2023年11月期第1四半期	14.98	13.85

(注) 1. 2022年11月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2023年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年2月22日に東京証券取引所スタンダード市場へ上場したため、新規上場日から2023年11月期第1四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第1四半期	1,508	1,270	84.3
2023年11月期	1,502	1,298	86.5

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 1,270百万円 2023年11月期 1,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	—	—	20.00	20.00
2024年11月期	—	—	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,016	15.9	383	33.3	381	43.5	260	40.5	74.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期 1 Q	3,485,000株	2023年11月期	3,459,000株
② 期末自己株式数	2024年11月期 1 Q	31株	2023年11月期	31株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期 1 Q	3,441,285株	2023年11月期 1 Q	2,891,244株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、物価高による消費下押しと人手不足による設備投資の遅延に加え、足もとでは自動車認証不正問題や能登半島地震の影響もあり、景気回復が足踏みしている状況です。2023年10～12月期の実質GDP成長率（2次速報）は、前期比+0.1%（年率換算+0.4%）となり、コロナ禍明け後に順調に回復していた宿泊・飲食サービス、旅客輸送、レジャーといった対面型サービスへの支出も一巡したと見られています。また、2024年1～3月期は再びマイナス成長となる可能性が高いと予想されており、厳しい状況が継続しております。

一方で当社を取り巻く国内ITサービス市場においては、経済産業省の推進するデジタルトランスフォーメーション（DX）に関連するシステム投資が継続してその存在感を強めております。政府は22年に経済安全保障推進法に基づきクラウドを「特定重要物資」の対象に加えました。有事が発生しても供給網が途絶えない体制づくりを目指し、関連する国内企業に対して補助金などの支援策を用意し、具体的措置として経済産業省からさくらインターネットに対し6億円の補助が行われました。継続してデジタルトランスフォーメーション（DX）のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的として、クラウドサービスを優先的に採用する「クラウドファースト戦略」を実行する企業が増加しており、2022年の国内クラウドサービス市場規模は、前年比37.8%増の5兆8,142億円となりました。2022年～2027年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は17.9%で推移し、2027年の市場規模は2022年比約2.3倍の13兆2,571億円になると予測されております。（出所：IDC Japan株式会社「国内クラウド 市場用途別売上額予測、2022年～2027年」）

このような経営環境のもと、当社は、超高速CMS実行環境「KUSANAGI」をはじめとしたサーバ高速化ソリューション「KUSANAGI Stack」でKUSANAGI Stack事業を展開し、一気通貫でWebサイトの保守・運用を行うKUSANAGI マネージドサービスの拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高206,466千円（前年同期比7.3%減）、営業利益44,683千円（前年同期比46.0%減）、経常利益44,402千円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益31,329千円（前年同期比27.7%減）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、KUSANAGI Stack事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,452,466千円となり、前連結会計年度末に比べ8,643千円増加いたしました。これは主に、新株発行等により現金及び預金が20,769千円増加したことによるものであります。固定資産は55,673千円となり、前連結会計年度末に比べ2,669千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が1,805千円、無形固定資産が686千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は1,508,139千円となり、前連結会計年度末に比べ5,973千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は157,362千円となり、前連結会計年度末に比べ8,437千円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が14,493千円、未払費用が12,346千円増加したことによるものであります。固定負債は79,937千円となり、前連結会計年度末に比べ25,658千円増加いたしました。これは長期借入金が25,658千円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は237,299千円となり、前連結会計年度末に比べ34,095千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,270,839千円となり、前連結会計年度末に比べ28,122千円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当等により利益剰余金が37,849千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は84.3%（前連結会計年度末は86.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の業績予想につきましては、2024年1月12日に公表いたしました「2024年11月期 決算短信」から変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,326,025	1,346,795
売掛金	86,736	75,712
仕掛品	486	793
前払費用	27,529	26,502
未収入金	499	80
その他	2,546	2,583
流動資産合計	1,443,823	1,452,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,811	1,811
減価償却累計額	△845	△890
建物及び構築物(純額)	966	921
工具、器具及び備品	7,360	7,363
減価償却累計額	△6,706	△6,842
工具、器具及び備品(純額)	653	521
有形固定資産合計	1,620	1,442
無形固定資産		
ソフトウェア	12,564	11,275
その他	16,097	16,699
無形固定資産合計	28,661	27,975
投資その他の資産		
長期前払費用	6,069	4,978
繰延税金資産	1,478	1,573
その他	20,512	19,703
投資その他の資産合計	28,060	26,255
固定資産合計	58,342	55,673
資産合計	1,502,165	1,508,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,870	18,243
1年内返済予定の長期借入金	28,840	43,333
未払費用	27,659	40,006
未払法人税等	35,302	16,046
契約負債	19,862	9,941
その他	17,390	29,793
流動負債合計	148,924	157,362
固定負債		
長期借入金	54,279	79,937
固定負債合計	54,279	79,937
負債合計	203,203	237,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,394	434,009
資本剰余金	389,529	394,144
利益剰余金	474,181	436,331
自己株式	△96	△96
株主資本合計	1,293,008	1,264,388
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,953	6,451
その他の包括利益累計額合計	5,953	6,451
純資産合計	1,298,961	1,270,839
負債純資産合計	1,502,165	1,508,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	222,678	206,466
売上原価	67,409	77,433
売上総利益	155,268	129,033
販売費及び一般管理費	72,530	84,349
営業利益	82,738	44,683
営業外収益		
受取利息	1	5
為替差益	29	—
営業外収益合計	31	5
営業外費用		
支払利息	338	207
保証料償却	67	67
上場関連費用	20,194	—
その他	—	12
営業外費用合計	20,600	287
経常利益	62,169	44,402
税金等調整前四半期純利益	62,169	44,402
法人税等	18,845	13,072
四半期純利益	43,323	31,329
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,323	31,329

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	43,323	31,329
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△448	497
その他の包括利益合計	△448	497
四半期包括利益	42,875	31,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,875	31,827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。